

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

矢田西小

学校

児童数

37

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	12.88	18.13	31.31	34.19	38.44	9.96	150.47	19.25	47.53
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	12.32	19.37	41.06	39.22	39.16	9.32	164.21	15.53	57.18
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

大阪市平均・全国平均との比較では、体力合計点では男子はどちらも下回ったが、女子はどちらも上回った。種目別にみると、男女とも立ち幅とびの数値が他の種目に比べると高く、握力、反復横跳びが低くなっている。男子はすべての種目で全国平均を下回っているが、女子は握力以外は全国平均を上回っているという対照的な結果になった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男女ともに肯定的な回答が多く、大阪市平均・全国平均を上回っている。特に女子の最も肯定的な回答が大阪市平均・全国平均を大きく上回る結果となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が0%、女子が17.7%である。運動時間の短い児童の割合が男子は大阪市平均・全国平均より少なく、女子も大阪市平均よりは低いが全国平均とは同水準であることが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、休み時間に各学年・学級においてみんなで遊ぶ機会やペア学年での遊びの機会を設けている。多くの先生も休み時間に児童と一緒に遊ぶ姿がみられ、運動場で元気に遊ぶことが日常化している。また、体育的行事として、2学期にはランニング記録会とそれにとりまわったランニング集会、3学期にはなわとび週間などに取り組んでいる。ランニング集会やなわとび集会の時期になると自発的に運動場を走ったり、なわとびをしたりしている児童も多く見られ、今後も継続的な取り組みにしていきたい。

本校児童は、運動やスポーツへの関心は高く、運動の日常化は概ねできているが、調査結果から、握力がいちばん課題があることが分かった。握力を高めるためには、日常生活や遊びの中で「握る・ぶら下がる・引っ張る」動作を増やすことが効果的である。鉄棒・うんてい・登り棒・ジャングルジムなどの遊びや活動をより多く取り入れていきたい。